

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市立博物館協議会
- 2 開催日時 令和5年7月21日（金） 午前10時から12時まで
- 3 開催場所 水戸市立中央図書館 3階 視聴覚室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 桐原 幸一, 笹目 礼子, 川田 寛子, 河原 将子, 中庭 忠, 村山 朝子,
小塚 のり子, 玉川 里子, 藤 和博, 藤本 陽子
 - (2) 執行機関 小川 邦明, 鈴木 雅人, 平澤 尚子, 中村 有紀子, 藤井 達也
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 報告事項
 - ① 特別展「那珂川ヒストリー ー水と共に生きた人々ー」の結果について（公開）
 - ② 令和4年度博物館事業の実施結果について（公開）
 - (2) 協議事項
 - ① 企画展「子どもミュージアム 昆虫の不思議」の開催について（公開）
 - ② 水戸市民会館オープン記念特別展示「市立博物館コレクション展」について（公開）
 - ③ 特別展「ろうのしごと 中村光哉の染色」の開催について（公開）
 - ④ 令和5年度博物館の主な事業について（公開）
 - (3) その他
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称 令和5年度第1回水戸市立博物館協議会
- 9 発言の内容
(開会のあいさつ)
【委員長】
では、議事に入ります。最初に、報告事項として、特別展「那珂川ヒストリー ー水と共に生きた人々ー」の結果について、それから、令和4年度博物館事業の実施結果について、事務局より続けて説明をお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

以上の報告につきまして、何か質問ございますか。

【___委員】

那珂川ヒストリーの特別展、非常に充実して、準備するのにどれだけかかったかと頭が下がる展示でした。那珂川については、シリーズで、また別の視点でやってもらえたら有難いと思いました。

時期が2月から3月でしたが、学校教育とすごく結びつくと思っていたので、今回、高校生が10人しか来場していないというのがすごくもったいないと思いました。高校生にぜひ見てもらいたいと思いましたので、時期の調整というのは非常に難しいですが、そういった面も配慮、考慮して組んでいけると有難いと思いました。

学校の先生がこういうことがあるということを理解されて、それでアナウンスするのが一番効果があると思うのですけれども、ちょっとこの時期だと難しいかと思いました。

【___委員】

那珂川ヒストリーで、展示の3つの視点である生業・流通・災害、ここの展示室ではこれを全部というのは難しかったなと思いました。もっとテーマを絞って、何回もシリーズでやられたらいいと感じました。

災害のところを今までやったことがなかったので期待していたのですが、4階で江戸時代を中心に展示をされていて、災害の部分もそういう文書から見えてくるいろんなデータがあると思うのですが、それをもう少し目で見て分かりやすくというふうにしていただけたら、もっと良かったと思いました。近年の洪水のレスキューの資料がたくさん並んでいて、それはそれで非常に貴重で良かったとは思いますが、それまでの展示の中身とちょっと連携が。もう少し充実した江戸時代の那珂川を見せてもらって、それで今はレスキューでこういう貴重な資料が災害の後からも発見されて新発見もあったんですよというようなものがあって良かったのではないかな。最後、せっかく見てきたものが中途半端に終わってしまったのがすごく残念という気がしました。

でも、講演会でその3つの視点をきちんとされていたので、その辺は良かったかと思います。

【___委員】

今回は、那珂川の源流から那珂湊の河口まで、現在の場所が分かるように図録やパネルにも多少出ていたと思いますが、現在の地図に昔こういう所があったということを投影して、那珂川にしても千波湖にしても、水が豊かで自然環境も豊かで、人々が自然と触れ合って住みやすいところなのだという素晴らしさを歴史的な環境から伝えていくという意味では、非常に大事な展示なのかなと私は思います。

先ほどから話が出ていますが、今回、総合的にある程度大きく捉えて見ていただいて、これか

ら先、いろいろな切り口でやっていくスタートラインに立っている展示なのかなと思います。非常に御苦労が分かる展示で、いろいろな視点で展示したということは良かったと思います。

【委員長】

では次に、協議事項ということで、企画展「子どもミュージアム 昆虫の不思議」の開催について、後ほど、実際に展示を案内いただきながら、意見を述べさせていただければと思います。概要のみ御説明をお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

協議事項(2) 水戸市民会館オープン記念特別展示「市立博物館コレクション展」、協議事項(3) 特別展「ろうのしごと 中村光哉の染色」の開催について、協議事項(4) 令和5年度博物館の主な事業、以上について、事務局より説明をお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

これらについて何か御質問、御意見ございますか。

【___委員】

集客のことで、高校生が少ないという結果が出ていましたが、アンケートの中にスタンプラリーみたいなのをやらせてほしいという10代女性がいて、いつの時代でもこういうことをやりたい子はいるのだなと思いました。

令和5年度の事業の中でも、梅まつりの時期にかぶるものがありますので、そういう時に、以前は商店会のスタンプラリーと連携して博物館も回るコースがあったことがありましたので、内容を充実させるということも一番大事だと思いますが、そういう仕掛けを作って博物館に足を向けるような工夫があってもいいと思います。

商業施設に行くと、ここからここまで歩くと何メートルです、何キロですという表示があったりするので、この地域でウォーキングに興味のある方が、歩いて博物館も回ると何キロになるとか、そういう仕掛けを作ってお客さんを呼ぶということも考えてみたらいいのではと思いました。

【執行機関】

企画展、特別展をやっていく中でいろいろ検討させていただければと思います。

【___委員】

茨城県立歴史館に勤めたことがありまして、教育普及の仕事に携わっておりました。その時も高校生や大学生を呼ぶのに非常に苦労したのですが、学生さんを呼ぶには、教員にこの展示はい

いなと十分に理解してもらって、そこから学生さんに伝えてもらわないと。なかなか学生個人に宣伝を届けて来てもらうというのは難しいので、学校さんの協力を得られるような何か工夫をされるといいのかなと思いました。

歴史館にいたときには、教員の方々に来てもらえるように、教員が博物館を活用してこんな授業ができますというような研修会を実施しました。高校生ですと、市内だと緑岡高校に歴史部というのがあってと思いますが、そういうサークル単位で活動しているところに広報を直接して実際に展示に来てもらったこともあります。

内容は非常に充実していてもったいないですし、これから水戸市の未来を担う学生たちにこの那珂川ヒストリーもしっかり伝えていきたいと感じたので、その辺の広報をもうちょっと力入れてやっていただくと学校としても有難いと思います。

小学校向けには、先日、校長会の連絡会に市博から宣伝に来ていましたが、中学・高校向けにもやっていただくと。学校にはチラシの案内が山ほど来るので埋もれてしまうのですが、そういう連絡会の時に説明があると、あの時間聞いた内容だということで手に留めてもらえて、これ良さそうだと校長からも声かけられるので、ぜひそういう広報を増やしていただきたいと思います。

【 委員 】

大学に内地留学で来た水戸市内の中学校の先生が、博物館との連携で教材開発をしたいということで、市博の学芸員に紹介して、非常に丁寧に御助言いただいたり資料の提供などをしていたりしました。博物館を子どもたちを連れて行く場とか出前授業してもらう場だけではなくて、たくさん持っていらっしゃる資料をいかに教材化して授業に生かしていくかという場として、そのところのご指導をしてもらえると有難いと思いました。

例えば、社会科でいうと小学校と中学校の郡市部長会というのが県で、社会科の先生で校長先生になっている方が集まる会というものもありますので、そういう所に働きかけるといったこともできるかなと。

【 委員 】

中学生は今、地域の探究の授業というのをやるんですね。

【 委員 】

そうですね。学習指導要領が変わって、今までは小学生が地域を回る中心になっていましたが、中学生が地域をちゃんと回りましょうと学習指導要領で言っています。

高校も地理が必修になりまして、地域調査、地域を知ることがカリキュラムの中に入っていますし、一方で社会に開かれた教育課程ということもうたっています。博物館と連携してそういうことを進めるというのを、むしろ博物館が主導していただくと。みんな困っていると思うので。

今日、大通りではなくて、新しい市民会館の裏のほうを歩いてここまで来たのですが、こんなところにこんな古いお店があるのかとか、歩いて回ると面白そうだといいところがいくらかあつ

て、手始めとしては水戸を巡るようなものを発信してもらえるとすごくいいなと思いました。

【__委員】

そうですね。そこから博物館に来ることに興味持ってもらえるといいなと思います。

【__委員】

ミトリオもできまして、今、土日に街に行きますとたくさんの世代の方がいらっしゃっています。ぜひ回遊性を高めて、この辺りは本当に歩くとなかなか気持ちいいエリアなので、そこをうまく利用して、通りすがりでも寄れるような博物館につなげていけるのではないかと、いい機会なのではと思いますので、その手立てをぜひいろいろ考えていただければと思います。

【委員長】

時間も迫っていますようですので、会議を閉めさせていただきます。

【執行機関】

以上を持ちまして、令和5年度第1回水戸市博物館協議会を閉会といたします。